



# 教育委員コラム

発行元  
弟子屈町教育委員会  
委員長 小澤 重  
職務代理 榎本 悦子  
委員 菅原 誓之  
委員 金井 秀明  
教育長 小林 俊夫



北海道 弟子屈町  
Teshikaga Town

弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場  
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

## 教育委員リレーコラム

### 弟子屈高校の新たな取組にご理解とご協力を！

教育長 小林俊夫

本年度、弟子屈高等学校の新一年生を41名以上確保出来なかったことから、北海道教育委員会において、平成29年度の募集枠を2学級から1学級に減らすことが検討されるのではないかと危惧し、直ちに町・町議会・教育委員会・PTAで道教委に出向き、募集枠2学級確保に向けて要望してきました。その結果、6月道教委から「中学卒業生数の推移に鑑み平成29年度の入学者募集枠を2間口する」との回答を頂くことが出来ました。

このことを受けて、弟子屈高等学校では、平成29年度に多くの入学者を迎入れる目的で、色々な取り組みを進めています。その一つとして昨年度に引き続き、町内2つの中学校を通じて、中学3年生及びその保護者宛に、弟子屈高校の教育を支える会会長 竹森英彦・北海道弟子屈高等学校長 木村浩士・弟子屈町教育委員会教育長 小林俊夫・北海道弟子屈高等学校PTA会長 木村孝博・北海道弟子屈高等学校同窓会会長 上村保範の5者連名で、「弟子屈町内の中学3年生の保護者の皆様へ・地元弟子屈高校で望みをかなえませんか」と題した弟子屈高等学校ピーアール文書を配布しています。

また、本年度新たに、「望みをかなえる！弟高へ」と題したPRポスターを作成し、町内各学校をはじめ各公共施設や各事業所などに掲示し、弟子屈高等学校の魅力を一層発信しようという取り組みを進め、7月11日、生徒を代表して、生徒会長の濱岡日菜さんが町長室を訪れ、初めて作成した真新しいポスターを直接手渡し、支援を呼びかけました。更には、7月16日、第55回弟子屈高校文化祭の恒例となっている「摩周の里夏まつり」会場でのクラス別のダンスパフォーマンス披露に先立ち、木村校長が詰め掛けた大勢の町民の皆さんの前で挨拶され、「弟子屈高校は生徒一人ひとりを大事にする高校です」と魅力ある弟子屈高校のPRに努めていました。加えて20日には、両中学校の3年生合わせて50名が参加しての一日体験入学が弟子屈高校で行われました。その開会式で木村校長から「きめ細やかな学習指導が特色となっており、弟子屈高校で学び合いながら、自分の夢や希望を叶える、一番身近な高校です」と挨拶され、生徒会からは映像を見ながら高校の魅力を訴えていました。その後行われた授業体験では、中学3年生がそれぞれ国語科・数学科・英語科・理科科・社会科の中から自由に科目を選択して授業体験に挑戦し、何れの授業も笑いのある楽しい雰囲気の中で行われ、弟子屈高校の良さを少しでも体感出来たのではないかと思います。

最近、かつてないほど、弟子屈高校に関する記事が多く掲載され、高校の抱える課題や魅力、そして生徒の頑張りなどが紹介されるようになりました。この報道により多くの方々から弟子屈高校のことを、今まで以上に、知ってもらえるようになったと思います。

このように、弟子屈高等学校では、平成29年度41名以上の入学者の確保を目指し、昨年度に増して「弟子屈高等学校ピーアール運動」を積極的に取り進めています。

弟子屈高等学校は、本町の将来のまちづくりを描く際に、決して欠かすことの出来ない存在であり、その存続のあり方はただ単に高校だけの問題に止まるものではないことから、町が一丸となって現状のまま存続できるよう一層努力してまいりたいと考えているものであります。今後とも町民の皆さんのお力添えを頂くとともに、弟子屈高等学校を支えて頂きますよう心から願っております。



・ピーアールポスターを町長に



・弟高祭の一コマ



・弟高一日体験入学

# 教育あっちこっち情報



## 平成28年度、第36回「少年の主張」弟子屈大会

教育委員 金井 秀明

第36回「少年の主張」弟子屈大会が、5月22日公民館2階講堂で開催されました。小学生6名、中学生9名の発表があり、保護者の方、友達、学校の先生、そして来賓の方々と100名を超える聴衆を前にしての発表でした。我々でもこれだけの聴衆の前での発表は非常に緊張します。しかし、15名の児童生徒の発表者は堂々と自分の意見を発表してくれました。特に小学生はほとんど原稿を見ることなく発表していました。小学生の部は川湯小学校6年生、神田幸成君が最優秀賞、中学生の部は弟子屈中学校3年生、浦山芽生さんが最優秀賞を獲得しました。浦山芽生さんは7月28日釧路市で開催される釧路総合振興局地区大会に出場されます。好成績を期待します。素晴らしい発表会でしたが、残念なことが一点あります。今回の中学生9名中、男子の発表者は1名のみ、残り8名は女子生徒でした。頑張り、男子生徒！



## 「フラワータッチ開催」

教育委員 菅原 誓之

6月28日天候にも恵まれた中、町内の園児・児童・生徒・学生すべてがそろい、「フラワータッチ」が開催されました。当日は高校生がリーダーシップをとり、下級生の先頭となって花植えを楽しんでいました。花や土とふれあいながら、美しさや命の大切さを学んだ一日となったのではないのでしょうか。ぜひ皆さんも文化センター横「摩周森の公園」花壇をご覧ください。



## 「弟子屈中学校訪問」

委員長職務代理 榎本 悦子

いつもは役場内で会議している教育委員会ですが、年二回、学校訪問を兼ねて行われ、6月は弟子屈中学校でした。学校を訪れるのは、入学式・卒業式や運動会・学芸会など特別な日なので、普段の生徒さんの授業を観られるのはとても楽しいことです。弟子屈中学校では、部活までの時間に勉強をする空間があったり、玄関に小さな図書コーナーがあったりと勉強と読書に生徒さんが取り組みやすい工夫がされていました。校長先生からのお話にも学校は勉強をする場所だということ再認識しました。



## 「学校・家庭・地域連携の奥春別連合運動会」

教育委員長 小澤 重

6月18日 前日からの雨と当日も小雨が残り、地域連合運動会は屋内体育館で行われていました。保護者の方々や祖父母の皆さん・地域の方々の応援・歓声が目の前に聞こえ、狭いながら逆に活気が身近に感じました。先生達が工夫された屋内用の競技が、天井に張られた綱に万国旗や生徒さんの手造りのポスターが吊り下げられた下で行われ、保護者の方や地域の方々との競技で、子供達の輝いている姿が運動会を盛り上げていました。お忙しい中を前校長中村先生や、元弟子屈中学校吉田校長先生、教育大学釧路校玉井キャンパス長様方も支援校の応援に来られて、本当に有難うございます。小原校長先生や教頭先生・職員の皆様・保育園・地域の皆さんご苦労様でした。



## 第34回北海道小学生陸上競技大会出場応援！！

教育長 小林 俊夫

この大会は旭川市の花咲スポーツ公園陸上競技場で開催され、本町から「弟子屈RC少年団」の子どもたち5名が各種目に出場しました。その結果、入仲健誠「5年男子走り幅跳び」第17位・中原岬「5年男子ボール投」40m47第8位入賞・下谷妃乃「5年女子走幅跳」第13位・中島夏輝「4年女子ボール投」第10位・野表朝姫は「4年女子100m」出場しましたが残念ながら予選落ちとなりました。

応援には佐野弟小校長をはじめ保護者の皆さん方が必死になって応援していました。

全道各地から予選や標準記録を突破した児童1,660名が参加し男女とも22種目に挑んでいました。少年団代表の野表さんは「全道大会出場は子ども達にとってきっと良い経験になっていると思います」と語ってくれました。今後も諦めることなく自己更新を目指して欲しいと願っています。



### ★ ★ 編集後記 ★ ★

今年の初夏は天候不順が続きました。各学校の運動会や行事、社会教育関係のイベントなど天気の合間や日程調整をしながらの開催となった事でしょう。いよいよ夏休み！！子供達が元気に外で遊べるよう、天候の回復を願っています。

(菅原)